

(様式3)

事業所名 グループホームすまいる中仙

作成日: 令和 5 年 12月 16日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	災害対策が進んでいない。 一部実践して駄目だったがその次の方策が考えられていない。	災害対策を進め、職員の不安を無くす。	・地域の方への災害応援時の具体的な対応内容の説明。 ・夜勤を想定した一人での初期避難誘導方法の検討と訓練での実践。 ・非常口の手すり、夜間の灯りの整備の協議。	6ヶ月
2	4	意見交換ではなく報告会になっている。 意見をもらえる様な工夫が必要。 身体拘束適正化委員会も委員会ではなくヒヤリハット・事故報告会となっている。	参加される方に意見を頂きやすい会議にする。	・事前に会議資料を提出し意見を頂きやすくする等、方法の見直し。 ・身体拘束委員会の書式及び報告内容の見直し。	12ヶ月
3	4	運営推進会議で出た意見が職員に伝わっておらず、サービスの向上につながっていない。	会議の内容を全職員と共有しサービス向上につなげる。	・会議報告書の回覧等により職員への周知と共に話し合いの場を設ける。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。